

富田ひがし

第29号

2025. 1. 1

地区社協
だより

発行：富田東地区社会福祉協議会 事務所：周南市新南陽総合福祉センター内 TEL 62-4981



瀬戸内海に昇る初日の出2025

ごあいさつ



久村貴美子

会長

新春のお慶びを申し上げます。皆様方におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと思います。平素は東地区社会福祉協議会にご支援ご協力を賜りましてありがとうございます。感謝申し上げます。

昨年とは地震、台風、豪雨、今まで経験したことがない猛暑被害に苦しめられた一年でした。豊かな生活と引き換えに自然を破壊してきた私達にも責任があるかも知れませんが、日本は美しい四季に影響が及ばないことを願うばかりです。

自然と人類がお互いに共存して、素晴らしい未来につなげていけることを願っております。東地区社会福祉協議会は令和六年度総会を六月六日に開催しました。令和六年度敬老会は衆議院選挙と重なり開催が危ぶまれましたがご尽力いただいたおかげで、十月二十七日無事開催出来ました。参加者のみなさまに喜んでいただいて、あきらめなくて本当に良かったと思います。

今年度も微力ながら次のことを重点目標に一歩一歩努力を重ねて参ります。

◆敬老会行事の企画運営実行

◆民生委員、福祉員等による友愛訪問活動

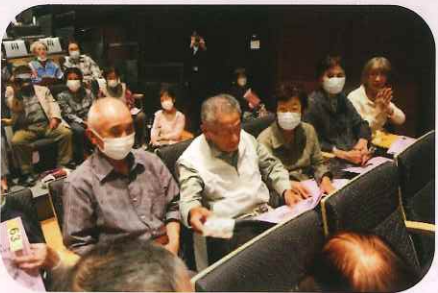
◆いきいきサロンの開催

◆地区社協だより「富田ひがし」発行

これからも富田東地区社会福祉協議会を何卒よろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、皆様方が今年一年平穏無事で暮らすことが出来ますように心から願っております。

富田東地区敬老会

令和6年10月27日(日) 周南市学び・交流プラザ



ご長寿バンザイ!
いつまでも健康で、明るく
楽しい日々を送られますよ
うお祈りいたします。

東地区の宝 百五歳
佐伯 雅子さん

祝 いつまでも お元気で



敬老会ボランティア

富田東小学校六年 中木 ひかり

十月二十七日、私は敬老会のボランティアに参加しました。

敬老会では、思ったよりも多くの方がいておどろきました。でも、私達が、ステージの上に行くと、みなさんが笑顔で見守ってくださって、すごくほこらしい気持ちでいっぱいになりました。

特に、私が心に残った事は、来賓の方におまんじゅうをわたした事です。「おめでとうございます。」と言っておまんじゅうをわたすと、とても優しい笑顔で「ありがとう。」と返ってきてくれました。

「おめでとございます。」と「ありがとうございます。」二つだけの会話なのに、私は、心の中があたたかい気持ちでいっぱいになりました。

富田東小学校のチャレンジ目標である『心をつなぐあいさつ』ができてうれしかったです。音楽クラブの出し物もよろこんでいただいて笑顔があふれていてよかったです。

私はまたこのような機会があれば参加したいです。



感謝の気持ちをこめて
お祝いました



富田東地区敬老会

ボランティアを終えて

新南陽高等学校 小笠原 未果

会場の案内や抽選会のサポートを行いました。参加されたお一人お一人に声をかけ、必要があれば荷物を運んだり移動のサポートを行ったり参加された方々が安心していけるよう心掛けました。抽選会では当選された方に賞品をお届けする役を行いました。商品をお渡しするときに「おめでとうございます」と言うと「ありがとう」と言われ、お帰りになる際も何度も感謝の言葉をいただき、私の心が温かくなりました。ご年配の方々との交流は私にとって貴重な体験となり、ひとこと一言が心に響きました。

今回のボランティア体験で、世代を越えた交流の大切さを感じました。敬老会を通して心温まる体験ができました。これから地域の人たちとの交流を大切にしていきたいと思っています。



富田東地区敬老会

ボランティアを終えて

新南陽高等学校 田内 琴子

今回、高齢者の方々とは接したことで相手の目線に立って会話することの大切や挨拶の大切さに気付きました。抽選会で景品を渡したときや席を案内した時など自分が笑顔で対応すると相手の方も笑顔で感謝してくださって、自分も相手の鏡なんだと感じました。気さくに話しかけてくださる方や「ありがとう」って言うてくださる方など様々な方がおられました。皆さん笑顔が絶えずお友達と楽しそうに話されていてのを見て自分も元気をいただきました。そして多くの方が主催者の方とお話しされているのを見て、人のつながりの大切さを知ることができました。

今回のボランティアを通して、これからの人のつながりを大切にして、年齢関係なく多くの人とコミュニケーションをとっていききたいと思いました。



富田東地区敬老会

ボランティアを終えて

新南陽高等学校 江本 早希

普段、高齢者の方とは接する機会がないため、最初は接し方に少しぎこちなかったかなと思いましたが、最初の挨拶を笑顔でしたり「足元気を付けてください」などの声掛けをしたりするだけで、皆さんとの距離が縮まった気がしました。抽選会の手伝いで景品をその人の所へ持つて行ったとき、皆さんが「ありがとう」と笑顔で言うてくださったことがうれしかったです。イベントが進むにつれて皆さんがとても楽しそうなお顔をされていて、私もとても充実した時間になりました。

また、ボランティア活動をすることで、地域社会への貢献を実感し、もっと多くのことができるようになりたいと思います。これからも積極的に参加していきたいと思っています。



富田東地区敬老会に参加して

南陽工業高等学校 佐田 航平

敬老会に参加して、ボランティアとして地域の方々のために働くことのやりがいを感じることができました。会場を訪れる方々に感謝の言葉を言われるたびに心が温まり、とても気持ちのよい活動になりました。

会場準備を手伝った時は、来場者の方々と元気にあいさつをし、明るく、さわやかな気持ちでボランティアを始めることができました。また、席がわからない方がいた時は、自分達から積極的に助けに行けたこともよかったです。最後は福引大会の景品を渡す補助をしました。当選した方々がとても笑顔で、私たちも嬉しくなりました。

全てのプログラムが終了した後は、後片付も行いました。最初から最後までしっかりと働くことができましたので、やりがいのあるよい活動になりました。

富田東地区敬老会に参加して

南陽工業高等学校 石本 修嗣

私が富田東地区敬老会に参加して感じた事は、色々な方々のおかげで、このような会が開催されている事です。今までは何かの会にただ参加して楽しむだけだったけど、今日は手伝う側として参加させて頂き、裏方など大変さを知りました。実際に体験してみないと分からない事だから、貴重な体験だと感じました。

印象に残っていることは、おじいさん、おばあさんにプレゼントを渡したときです。渡す時に「ありがとうございます」と言われて、心が温かくなりました。「ありがとうございます」という言葉は、何度聞いても嬉しい事です。

今回、経験した事をこれからのボランティア活動に活かしたり、何かの祭りや会に参加する機会があれば、準備してくれた方々に感謝をして、自分が出来る事を頑張っていきたいと思いました。



「何かをしたい」を形に
あなたの『善意』を
姿・形あるものに換えて

善意銀行

やさしさありがとう



社会福協議会には、市民の皆さまからたくさんのご寄付をお寄せいただいております。

皆さまのご意思を尊重し、効果的な善意の活用窓口のことを『善意銀行』と読んでいます。

皆さまからいただきました浄財は、地域福祉活動推進のための各種事業として、大切に
使わせていただきます。

福祉員研修会を開催して

富田東地区福祉員会会長

山本 美智子

令和6年度富田東地区福祉員研修会を六月十九日に開催しました。

周南市防災危機管理課の方を講師にお招きして「家庭・地域でできる防災対策」を学び、情報交換をいたしました。

講演では、まずは自分の身を守る行動の再確認と、一人の災害時要配慮者に対して、支援体制を確認するため情報交換を平常時しておくことが大事とのことでした。要配慮者に手をさしのべられるよう、地域で協力し合いながら支援をしていけると良いですね。



ご家庭でも、非常備蓄品として普段から食べている食品を少し多めに購入して定期的に消費、補充を繰り返す「ローリング（循環）ストック（備える）」を実践してみましよう。備蓄に対してのハードルも低くなり

ますし、賞味期限を切らしてしまう失敗も減ります。

また女性の視点からの防災も大事です。避難場所での過ごし方など、普段からお子様たちと話し合っておくことも大変必要です。

災害時はストレスも溜まりやすくなりますが非常時こそ温かい思いやりの心で対応したいものです。



ふれあい・いきいきサロン担い手

交流研修会を開催

周南市社会福祉協議会新南陽支部

今田 美代子

ふれあい・いきいきサロン担い手交流研修会を十一月二十九日に開催しました。

周南市内において現在約170ヶ所でふれあい・いきいきサロンが展開さ



れており、介護予防や仲間づくり、孤独感の解消などで成果をあげています。本研修では、富田東地区だけでなく周南地域で活動されているふれあい・いきいきサロンの担い手を対象として、今後もサロン活動の継続と充実を図ることを目的に開催されました。

今回の研修では、周南市地域福祉課の保健師による「自分らしく生きるために知っておきたいこと」と題し「在宅療養ガイドブック」を活用しながらクイズや体操を交えての講話でした。今後も誰もが安心して生活できる地域を目指して、地域の方と一緒に考えていきたいと思っています。

川崎観音堂

KAWASAKI KANNONDO

川崎観音プロジェクトご紹介



国の登録有形文化財に指定されている川崎観音堂ですが、近年はコロナ禍や近隣住民の高齢化により参拝者が減少しています。若者視点の考えを活かすことで、少しでも多くの人に川崎観音について知ってもらうことを目的に周南公立大学では、『川崎観音プロジェクト』が始まりました。

今後、周公大生が中心となって新たなイベントが行われる予定です。若者ならではのアイデアで川崎観音が賑やかになることを期待したいものです。



【周南市社会福祉協議会会長表彰】

長年の地域福祉活動の功績に対し、次の方々が受賞されました。

重國 淑子様 池田 笑子様 重國 さかえ様

おめでとうございます。

編集後記

「巳」年は終結

と再生の分岐点

今年巳年です。

蛇は、古くから豊饒神・天候神として信仰の対象とされてきました。不老長寿や強い生命力につながる縁起のいい動物と考えられています。

脱皮をする蛇のイメージから巳年は「復活と再生」を意味します。植物に種子がで始める時期、次の生命が誕生する時期など、新しいことが始まる年になると言われています。

また、「巳」を「実」にかけて「実を結ぶ」年とも言われるようです。

